

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>佐世保港国際ターミナル</b> Sasebo port international terminal		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 交通流通施設	<b>小分類</b> 港湾ターミナル	
<b>改修設計者</b>	NKS2 Architects	URL	
<b>所在地</b>	長崎県佐世保市干尽町1番42号	Google Map	
<b>改修年</b>	2014年		
<b>建築規模</b>	鉄骨造2階建、延床面積 4,950m <sup>2</sup>		<b>概要 after</b> 港湾倉庫の大空間に既存の構造とは独立した大きな一枚の構造体「天井グリッド」を挿入し旅客ターミナルへ
<b>掲載書誌</b>	新建築 2014年12月号		
<b>賞・選定</b>	0		
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>港湾倉庫</b>		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 交通流通施設	<b>小分類</b> 倉庫	
<b>■写真</b> 改修前の状況 Before	<b>After</b> 外観		<b>After</b> 挿入された天井グリッドが外部では歓迎デッキに
			
<b>撮影提供</b>	提供: NKS2アーキテクト	<b>撮影提供</b>	提供: NKS2アーキテクト
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更 挿入	<b>内容</b> <NKS2 Architects Websiteより抜粋> 既存建物は最大約12mの天井高を持つ大空間で、空調された室内空間を作るためには、一般的な高さの天井を新たに設ける必要があった。しかし屋根外壁を支える既存の鉄骨フレームには更なる荷重を負担させることはできない。そこで、既存の構造とは独立した大きな一枚の構造体「天井グリッド」を建物高さの中央付近に挿入することにした。・・・天井グリッドは、必要に応じていくつもの役割を果たすインフラである。既存建物から張り出させて挿入することで、道路側は交通アクセスのための庇となり、海側は出入国のための庇とともに上部は送迎デッキになった。また室内においては、軽量間仕切・可動パネル・サイン・照明・音響設備などの取り付ける下地であり、メンテナンス通路を含む空調換気・電気設備の設置スペースとなる。さらには2階に配置された事務所やブリッジを支える構造となっている。	
	<b>■備考</b>	0	
<b>■作成者</b> 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		<b>管理者</b> 記載